

映画『室町無頼』の世界を味わい尽くす！

滋賀県室町スポット Map

2025年1月17日に公開される映画『室町無頼』。実はかつて室町幕府がおかれた京都にほど近い滋賀県内でも多数のシーンが撮影された。ここではロケ地と滋賀県内のイチ押し室町スポットについて紹介する。

① 白鬚神社跡地

東近江市

時は室町、応仁の乱。前夜の京。大飢饉と疫病の連鎖、路上に重なる無数の死骸。そんな混沌の世に風の如く現れ、巨大な権力に戦いを挑んだ者たちがいた……。

蓮田兵衛（はすだひょうえ）

——日本史上、初めて武士階級として一揆を起こし、歴史書に唯（ただ）一度だけその名を留める男。本作は彼の元に集結した「アウトロー無頼」たちの知られざる戦いをドラママチックに描く。

原作は直木賞作家・垣根涼介の『室町無頼』（新潮文庫刊）。リアルな風と炎と砂塵が舞う中世の暗黒時代を駆け抜ける、エンタメ全開のアクション巨編！！

【Cast】

蓮田兵衛／大泉洋
才蔵／長尾謙杜
芳王子／松本若菜
唐崎の老人／柄本明
骨皮道賢／堤真一



東近江市の山中にある旧大萩村は、百済寺の隆盛を支えた百済寺郷のひとつ。百済寺が焼き討ちされた際は、御本尊の避難地となった。災害を契機に村民が集団移住した後も、白鬚神社の鳥居はこの地にひっそりと佇んでいる。ここは伏見稲荷に見立てられ、道賢一派の根城として登場した。



兵衛が才蔵に「銭の価値」を問う序盤の名シーンが撮影されたのが佐波江浜。雄大な琵琶湖の景色が印象的だ。ここは日野川が琵琶湖に注ぐ地で、付近にはキャンプや釣りを楽しめるレジャースポットも。最近はおしゃれなカフェなどもオープンしている、県内でも人気上昇中のエリアだ。



③ 北船木

高島市

北船木の湖岸では、才蔵が唐崎の老人のもとで修業を積み、作中でも指折りの重要なシーンが撮影された。北船木を流れる安曇川は伝統的な鰻漁が有名で、水産庁から「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選出されている。また、「滋賀県立びわ湖こどもの国」など、ファミリー層にも人気のスポットが多い。

〔住〕高島市安曇川町北船木
安曇川北流河口付近
〔交〕JR湖西線「安曇川駅」から車で約15分

⑧ 大戸川ダム建設予定地

大津市

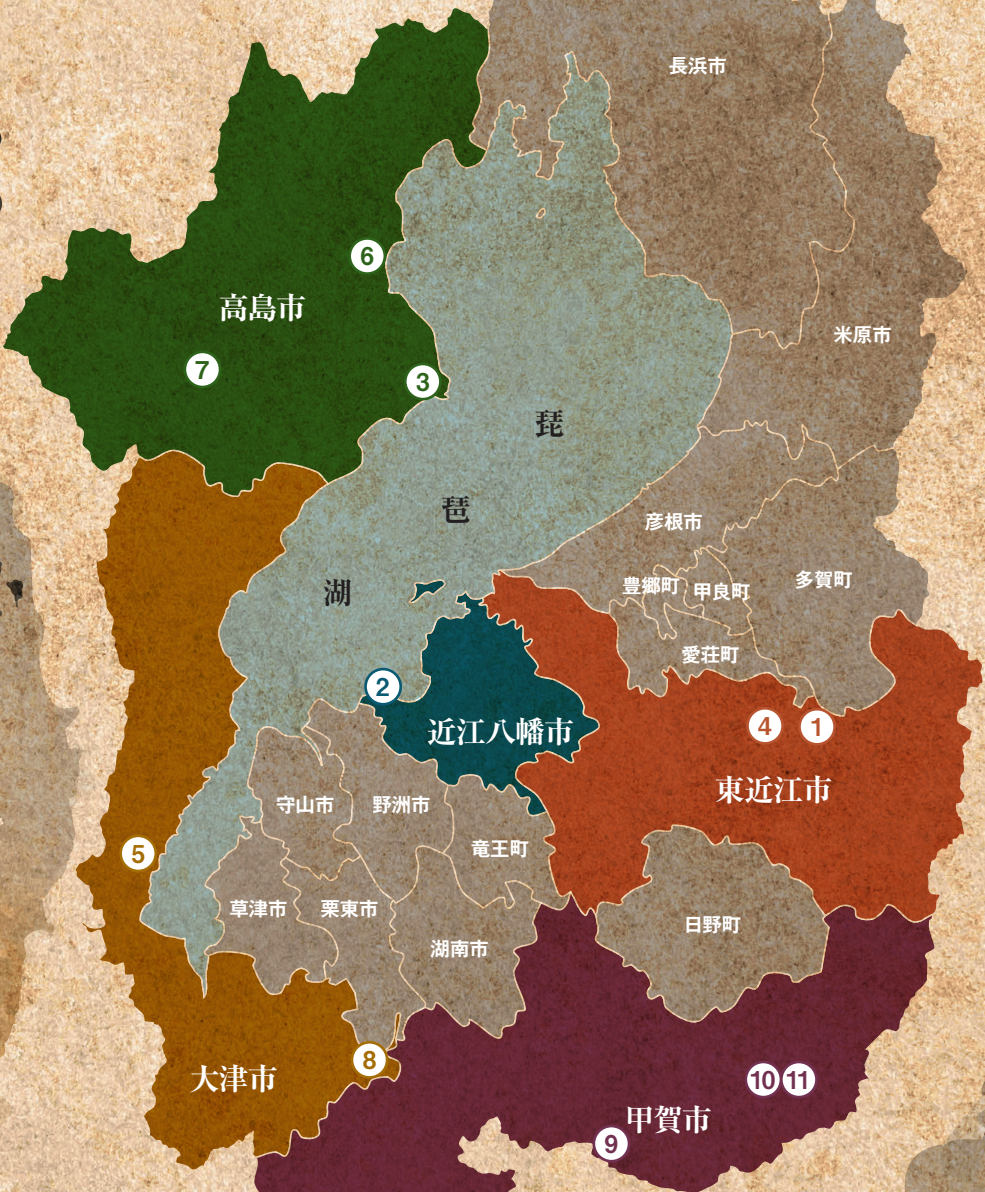


一揆勢が関所を突破する迫力満点のシーンを撮影したロケ地の正体は、大戸川ダム建設予定地。甲賀市と大津市を流れ瀬田川に合流する大戸川に、洪水調節専用の流水型ダムが建設される。2023年から開催されている「大戸川ダムフェス」では、当該ロケ地に立ち入ることができる。

※このロケ地は、普段は立ち入り禁止です。

〔住〕大津市上田上大鳥居町

映画の時代を感じたい！
室町時代に縁のある
スポットを訪ねる



④ 百済寺

東近江市



606年に聖徳太子によって創建されたといわれる、滋賀県最古級の寺院。室町時代には佐々木六角氏と関わりが深かったことから、後に織田信長の焼き討ちにあった。

〔住〕東近江市百済寺町323
〔交〕JR琵琶湖線「能登川駅」から車で約30分

⑤ 唐崎神社

大津市



「唐崎の老人」と呼ばれる由来である唐崎地域にある神社。室町時代には、「唐崎の夜雨」として、近江八景のひとつに選ばれた景勝地。境内には樹齢約100年の巨大な霊松がある。

〔住〕大津市唐崎1-7-1
〔交〕JR湖西線「唐崎駅」から徒歩10分

⑥ 今津港

高島市

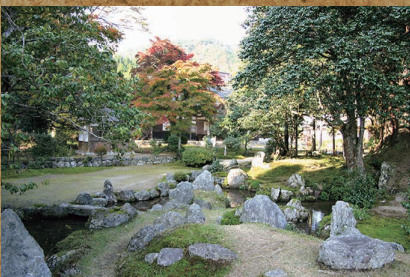


才蔵の修行地「今津」は、室町時代より、東国や北国からの物資中継港として、従来の港に代わり繁栄した。現在は竹生島への定期観光船が運航しており、多くの観光客で賑わう。

〔住〕高島市今津町今津30
〔交〕JR湖西線「近江今津駅」から徒歩約5分

⑦ 興聖寺と足利庭園

高島市



曹洞宗の開祖・道元禪師が、領主・佐々木氏に創建を勧めたのが始まりとされる。境内には、12代将軍足利義晴と13代将軍義輝が、朽木氏を頼って数年間滞在した居館の庭園が広がる。

〔住〕高島市朽木石浜374
〔交〕JR湖西線「安曇川駅」から車で約30分